

1 ①イントロ： 3人のニセカノ。

2 ・位置関係： 七瀬あき＝正面 50cm

3 ・凜崎かおる＝右 50cm

4 ・唯野めぐみ＝左 50cm

5

6 □病室にかけてくる音(七瀬)

7 Nanase 「……………」

8 ねえあんた、記憶無くしたってほんとな」

9

10

11 Rinzaki 「先輩、大丈夫なんですか…。

12 もしものがあつたら、わたし…」

13

14

15 Tadano 「ふええ…記憶無くしたって、私との関係も、忘れちゃったんだよね…うう」

16

17

18 Nanase 「ちょっと待って、何この女2人組。

19 ねえあんたたち、こいつとどういう関係。」

20

21

22 Rinzaki 「すみません、あなたこそ誰ですか？先輩との関係を知りたいんですが」

23

24

25 Nanase 「それはこっちのセリフなんだけど。あんたこそこいつの何なのよ？」

1 **Tadano** 「ふええ…怖いよお…喧嘩はやめて下さい…」

2

3

4 **Nanase** 「いや、あんたも誰なのよ」

5

6

7 **Tadano** 「あの、唯野めぐみって言います。

8 えっとお…全員同じ制服みたいですけど…」

9

10

11 **Nanase** 「ふんっ、そういうこと。

12 あんた、裏切ったわね。

13 初恋の相手とか言っときながら、

14 こんな雌犬どもと一緒にイチャついてたと思うと…

15 んぐううう…。(殺意)」

16

17

18 **Rinzaki** 「ふふ、3年の先輩でしょうか。

19 やたら鼻息が荒くて、落ち着きのない方ですね。

20 まあ、他の女に取られても仕方がないというか…くすくす」

21

22 **Nanase** 「ああ？あんた名前は？」

23

24

25 **Rinzaki** 「凜崎かおるです。ところで、先に名乗るのがマナーなんじゃないですか？

26 はあ、礼儀のなっていない方ですね。

27 そんな性格だから、先輩も愛想を尽かしたんでしょうね」

28

1 Nanase

「うぐうつついつつつなつつ…ふう、まあいいわ。
名前覚えたから。唯野さんと凜崎さんね。」

3 あたしは七瀬あき。まあよろしく」

4

5

6 Tadano

「その…私が2年で、凜崎さんが1年みたいです。
えと…学生証を見た感じ、七瀬先輩が3年、なんですよ」

8

9

10 Nanase

「ええ、んでこいつが2年なのは言わんでも分かることだけど、
まさか浮気するとは…。
うぐうつつ誠実気取りのむつとりドスケベがあっつ…」

13

14

15 Tadano

「うう…私も、他の方に奪われてたかもってことですよ…。
もしそうだとしたら、誰が本命で…というより、誰が本当の彼女なの…」

17

18

19 Rinzaki

「ふふ、先輩は私のものですよ。
彼女振ってますけど、実はセフレとかじゃないんですか？
くすくす、都合の良い体だけの関係、
七瀬先輩にはちょうど良い氣もしますけど」

22

23

25 Nanase

「あんた、さつきから喧嘩売ってたの？
…いいわ、これからあたしが本物の彼女だって証明してあげるから」

26

1 Rinzaki

「ふふ、ニセカノは2人いて、ホンカノは1人だけ。

2

誰がハッターなのか、白黒つけるのも良いかもですね」

3

4

5 Tadano

「えっと…暴力はダメですよお…」

6

7

8 Nanase

「はあ、あんたナイーブすぎっつーか。

9

女子高生にもなって喧嘩なんかするわけないでしょ。

10

これは勝負よ。こいつにホンカノを見つけさせる勝負」

11

12

13 Tadano

「ええ…でもどうやって勝負するんですか…」

14

15

16 Rinzaki

「ふふ、単純ですよ。

17

過去の写真を見てもらったり、

18

記憶のトリガーになるような場所に行ったり…

19

おまんこやおっぱいの感触を確かめたり、ですよね。くすくす」

20

21

22 Nanase

「は、あんた最後なんて言った」

23

24

25 Rinzaki

「ふふ、おまんこですよ。

26

セックスを通して思い出させるのが一番だと思ひまして」

27

1 **Tadano** 「ふええ…なんでそんなこと…」

2

3

4 **Rinzaki** 「ふふ、彼氏くんはドスケベで、性欲の化身なんですから。

5 セックスを通して思い出させるのが手っ取り早いと思ひまして」

6

7

8 **Nanase** 「うう…確かに一理あるわね。

9 まあいいわ、その勝負、乗ってあげる」

10

11

12 **Tadano** 「ふええ…怖いけど…でも、

13 記憶が治るかもしれないんだったら…協力しますっ」

14

15

16 **Rinzaki** 「ふふ、ちなみに、七瀬さんはいつしたんですか？

17 彼氏さんと初めてのセックス。」

18

19

20 **Nanase** 「はっつ、あんた何言って…」

21

22

23 **Rinzaki** 「おっきなおちんちん、

24 付き合ってからどれぐらいでおまんこに挿れましたかってことですよ。

25 感の鈍そうなあなたでも、それくらい分かりますよね」

26

27

1 **Tadano**

「ふええ…その言い方、生々しいよお…」

2

えへ…でも私い♡エッチなことはあ…大好きですう…♡」

3

4

5 **Nanase**

「ふふ、分かったわ(キレ気味)。

6

あんたたちがセックス狂いの淫乱女ってことがね。

7

ならこいつのこと、おま…んこで分からせるしかないわね」

8

9

10 **Rinzaki**

「ふふ、これから毎週日にちを決めて、先輩に会いに行きましょう。

11

そして、誰がホンカノなのか、思い出してもらいましょうか」